

【別紙様式2】

令和6年度北区立王子第二小学校 学校関係者評価報告書

令和 7年 2月 18日

学校関係者評価委員会 委員長 皆川 貴史

1 学校関係者評価委員会の構成

委員長：皆川 貴史（PTA会長）  
委員：大崎 美代子（元教育委員・元校長）  
廣田 香（保護司）  
西川 栄一（王子本町自治会会長）  
高木 基雄（王子田楽衆代表）  
山崎 守義（元PTA会長 青少年地区委員）

2 学校関係者評価委員会の主な活動

(1) 6月15日（土）

本校会議室において第1回学校関係者評価委員会を開く。授業公開、参観。今年度の経営計画、主な学校行事（運動会等）、子どもの様子について説明。10月18日（金）に区教育研究校発表を行うことから、今後の計画・取組等について説明。評価委員より地域の様子等を伺い、交通安全、外国籍児童、町会行事等について意見交換を行う。地域の伝統芸能について、評議委員より説明を受ける。

(2) 11月29日（金）

本校会議室において第2回学校関係者評価委員会を開く。音楽会参観、給食試食を行う。学校経営の様子（中間報告）、研究発表会、道徳地区公開講座、学校評価等について協議、意見交換を行う。研究発表会の子どもの姿から、楽しく体育の授業を行っており、素晴らしい取組であるとの声をいただく。音楽会での子どもの活躍・行事に向かう姿・教員の動き等についても賞賛いただく。

(3) 2月15日（土）

本校会議室において第3回学校関係者評価委員会を開く。授業公開、参観。学校評価及び次年度の学校経営等について協議、意見交換を行う。

3 学校関係者評価の結果と分析

自己評価と委員評定及び主な意見

\*評価・評定は4段階 4:肯定的な意見が90%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:49%以下

目標	重点目標	自己評価	委員評定	委員意見
自ら学ぶ子	主体的な学び	3	4	・小さい時期からのICT活用はよい。情報を取捨選択する力も身に付けてほしい。 ・きめ細やかに指導してくれている。ありがたい。 ・全て前向きに取り組んでいる様子が感じられる。
	基礎基本の定着	3	4	
	授業の工夫	3	4	
心豊かな子	異年齢交流活動	3	4	・たてわり班活動はとても大切である。 ・保育園との交流活動は素晴らしい。 ・ノーチャイム、時計を見て、自分たちで考えて行動できる習慣はたいへんよい。 ・基本的な生活習慣の定着は、家庭の力も大きい。
	道徳・心の教育	3	4	
	基本的な生活	3	4	
	楽しい学校	4	4	

【別紙様式2】

たくましい子	体力の向上	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら体力を向上させる工夫は素晴らしい。体力低下の課題解決に向け、いろいろな活動を今後も続けてほしい。</li> <li>・給食試食会が実施できてよかった。こんだても工夫されていて素晴らしい。</li> <li>・特別支援は見えづらい部分だが、それぞれの特性に応じて対応してくれていると感じる。通級している子どもが負い目を感じないように、今後も理解を求めていってほしい。</li> </ul>
	給食・食育	4	4	
	特別支援・教育相談	3	4	
	安全指導	4	4	
特色ある教育活動	情報の発信	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別授業を体験すると、子ども達のものの見方や考え方が大きく変わってくる。ぜひ様々な特別授業を取り入れてほしい。</li> <li>・様々なコンクールや大会で表彰される子が多い。全校朝会での表彰もありがたい。</li> <li>・体験的な学習の機会、近隣施設の活用、工学校との連携等はとてもよい。今後も続けてほしい。</li> </ul>
	読書活動	3	4	
	伝統文化 特別授業 NIEなど			

\* 伝統文化・特別授業等の項目は自由記述

(2) その他の意見

- ・昨年度の評価より、「十分あてはまる」が多いように思う。校長をはじめ、教職員の努力の賜であると思う。
- ・家庭の教育力が高い。学習面で皆よく頑張っていることがよく分かる。
- ・ICTの活用によって、視力の低下が心配である。時間を決めて取り組むなど、対策が必要。検索機能が充実して、辞書を使わなくなった。学校だからこそ、辞書を活用した学習も大切になってくる。
- ・ウォークラリーやデイキャンプ、地域の行事にも多くの子ども達が参加してくれた。高学年の子が小さい子の世話をよくしてくれた。保護者の見守りも多く、ありがたい。
- ・小学校生活の多くをコロナ禍で過ごした子ども達だけでなく保護者も、人との関わりという点で心配な面もある。
- ・王二小の子はあいさつをよくしてくれる。あいさつ運動の効果は大きい。
- ・高学年の立て直し、先生方がよく頑張った。子ども達も保護者も頑張っている。
- ・多様性を受け入れる時代である。標準服についての意見も多様だが、儀式的な行事や連合行事では揃っていると好感もてる。子どもに格差がつかなくてよい。半ズボン、長ズボン、ポロシャツなど、柔軟に対応している。
- ・不登校対策について、いろいろと方策を実施してくれている。今後とも不登校ゼロを目指してほしい。

4 改善の方策についての意見

- ・教育活動全般に対し、保護者・地域ともに肯定的に受け止めている。多様性の時代ではあるが、学校の取組への理解・協力体制は素晴らしい。
- ・標準服についての在り方については、学校評議員会、PTA 運営委、児童・保護者、町会等学校関係者と意見交流していく。いろいろな考えを学校が柔軟に受け止めてくれてありがたい。
- ・異学年交流等、たてわりの活動はぜひ継続してすすめてほしい。子ども達のやさしい心や思いやりが育まれ、大きな成果を上げていると感じる。
- ・子ども達に、様々な経験の機会を確保していただいていることは大変ありがたい。今後も体験的な学びの機会、出前授業、特別授業等を充実してほしい。
- ・今後も保護者・地域への情報提供や働きかけを積極的におこなってほしい。
- ・コロナ以降、保護者のつながり、コミュニケーションが希薄になってきている。学校と保護者が連携し、ともに子どもの健全育成を目指していきたい。